

特別展示 「石切丸と蛭丸写し」

関市ゆかりの刀匠、福留房幸刀匠と興
梶房興刀匠が制作した「大太刀 蛭丸写し
(関鍛冶伝承館蔵)」と、重要美術品に指
定されている石切劔箭神社の御神宝「太
刀 石切丸」を関鍛冶伝承館において縦型
展示します。

今回展示する「大太刀 蛭丸写し」は、平成
28年から平成29年にかけてクラウドファン
ディング「蛭丸伝説プロジェクト」で制作されました。
現在、石切劔箭神社においてもクラウドファン
ディング「創建2677年石切劔箭神社「刀剣奉
納」プロジェクト」に取り組んでいます。

こうした数多くの支援によって達成されたク
ラウドファンディングのプロジェクトや、人々の
手によって守り伝えられてきた刀剣文化につ
いて、プロジェクトに携わった刀匠のギャラ
リートークやイベントを開催することで広く周知
したいと考えています。

1. 主催 関市
 2. 協力 石切劔箭神社
 3. 会期 令和2年3月7日(土)
～令和2年3月30日(月)
 4. 会場 関鍛冶伝承館 1階刀剣展示室
 5. 開館時間 午前9時～午後4時30分
 6. 休館日 火曜日・祝日の翌日
(いずれも休日を除く)
 7. 会場 関鍛冶伝承館 2階 第1展示室
 8. 入館料 大人 300円(250円)
高校生 200円(150円)
小中学生 100円(50円)
- ※()内は、20名以上の団体料金

右写真:「太刀 銘 有成 号 石切丸」

(石切劔箭神社蔵/重要美術品)

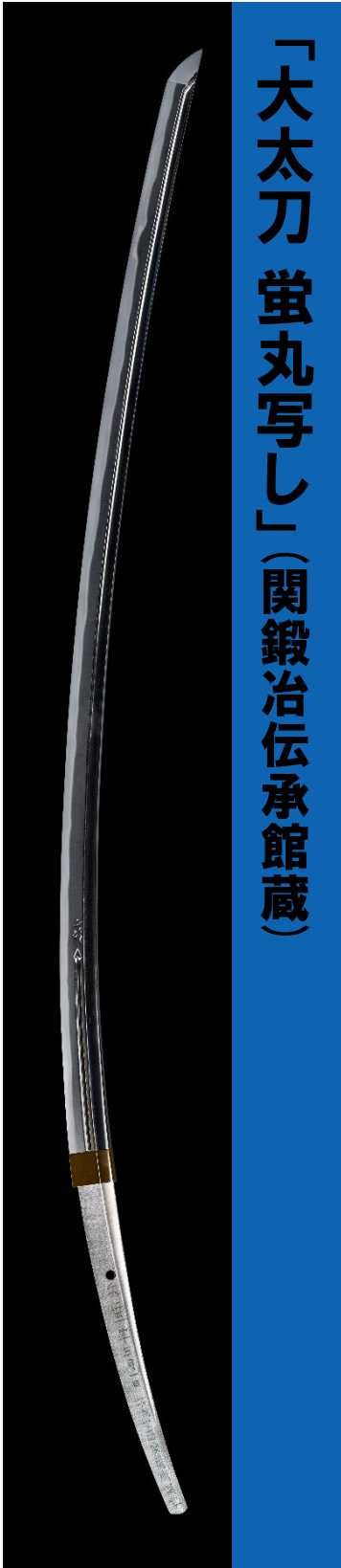
左写真:「大太刀 蛭丸写し」(関鍛冶伝承館蔵)

共に「刀剣撮像:中村 慧」

「大太刀 蛭丸写し」(関鍛冶伝承館蔵)

「太刀号 石切丸」

(石切劔箭神社蔵/重要美術品)



特別展示「石切丸と蛭丸写し」

関連事業

1、「蛭丸写しの火造り」を手に持ってみよう！」

「大太刀 蛭丸写し」の制作中に作られた「蛭丸写し火造り」を「刀剣を手に持ってみよう」のコーナーに設置します。

期間：和2年3月7日(土)～3月30日(月)

場所：関鍛冶伝承館1階



2、「吉田刀匠と福留刀匠によるギャラリートーク」

蛭丸写しの制作者の一人である福留房幸刀匠と、「創建2677年石切劔箭神社「刀剣奉納」プロジェクト」の鍔制作を担った吉田刀匠に、自身がかかわられたクラウドファンディングや作品について解説していただきます。

日時：令和2年3月21日(土) ・午前の部10:00～ ・午後の部 13:00～

場所：関鍛冶伝承館1階 刀剣展示室

参加費：無料(※関鍛冶伝承館入館料が必要となります)

3、「刀匠による銘切実演」

関の刀匠がご希望の文字を金属プレートに切ります。

講師：関伝日本刀鍛錬技術保存会・刀匠会(吉田正也刀匠・福留房幸刀匠)

日時：令和2年3月21日(土) 午前の部10:30～12:00
午後の部13:30～15:30

定員：各回先着15名(合計30名)

費用：2000円(材料費)

(※関鍛冶伝承館入館料が別途必要となります)

場所：関鍛冶伝承館1階 技能公開場

※銘切には作業時間がかかる場合がありますので、時間に余裕をもってご参加ください。



4、ワークショップ

「鮫皮のキーホルダーを作ってみよう！」

日本刀の鞘や柄に使用する「鮫皮」を、自分好みの形に切って色を塗り、キーホルダーを制作します。

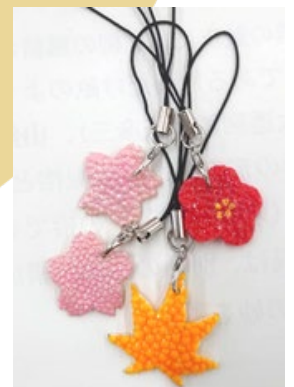
日時：令和2年3月14日(土)・29日(日) 10:00～15:00

場所：関鍛冶伝承館1階 階段前

定員：随時参加(鮫皮がなくなり次第終了となります)

所要時間：約30分

参加費：無料(※関鍛冶伝承館入館料が必要となります)



〈本リリースに関する報道関係の方からのお問い合わせ先〉

関市役所北庁舎2階 産業経済部観光課 担当：江西

TEL：0575-23-7704 FAX：0575-23-7741